

Kanagawa East
Rotary
Club



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2021-2022年度 第12週報 No. 2155 2021年(令和3年)11月5日 第2155回 例会記録 11月12日発行

本日〈11月12日〉のプログラム

- ◆斎唱「我等の生業」
- ◆献立 週替わり弁当
- ◆卓話 「東海道『神奈川宿』」
「東海道 風景街道」事務局長 湯川 厚子 様
(紹介者 小池 将夫 会員)



写真提供 小池 将夫

司会 馬場 佳子 副幹事

点鐘 小山 市康 会長

斎唱 「君が代」「奉仕の理想」
ソングリーダー 池田 広樹 会員

四つのテスト 月山 勇 職業奉仕副委員長
(第1例会のみ)

臨時総会

本日、会長(次々年度)及び2022-23年度の役員、理事の指名方法について、指名委員会によるものと決定しました。

ゲスト紹介 李 徳雨 様(米山学友会 幹事)
北村 敦 様(入会候補者)
深野 友和 様(入会候補者)

会長報告 小山 市康 会長

・R I 事務局より、河野会員と天野会員にM P H F の認証ピン、
今年度P H F になられた馬場会員、古澤会員には認証状と認証
ピンを贈呈致します。また、今年度ベネファクターには石川会
員と私小山がなりましたのでご報告致します。



2021-2022年度 RI会長 シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第2590地区 ガバナー 小倉 正

会長	小山市康	会計	渡邊淳
会長エレクト	赤堀伽寿一	副会計	長野毅
副会長	横溝亘	S A A	古澤一憲
副会長	加藤仁昭	副S A A	加野亮一
幹事	友添辰哉	副S A A	吉田隆男
副幹事	馬場佳子	クラブ会報	清水茂夫

幹事報告

友添 辰哉 幹事

- ・11月のロータリーレートは\$ 1=114円です。
- ・本日、例会終了後に社会・職業奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。 場所 5F ジュビリーIII
- ・次週、例会終了後に11月度定例理事会を開催致します。

委員会報告

雑誌委員会 副委員長 角野 弘幸

「ロータリーの友」11月号から気になる記事を紹介します。

今年度は記事の内容を一部朗読して紹介しています。

まずは表紙について。イラストレーター五十嵐仁之さんの動物をモチーフにしたことわざシリーズです。ブタさんのウエイターがポークステーキを運んでいます。「明日はわが身」というタイトルがつけられていますが、紹介されていることわざは“While there is life there is hope.” 生きている限り希望がある。裏を返せば明日はわが身だそうです。

そして、シリーズ物の「ガイ散策」コラムの5回目です。こちらは1923-24年度R I会長であり、ポール・ハリスの親しい友人であったガイ・ガンディカーがロータリーの理想とその活動を初めて包括的に述べた名著『ロータリー通解』についてのコラムだと思われます。今月号は、ガイ・ガンディカーが述べたactive Rotarianの4つの活動について解説をしています。

最後に紹介するのは川柳です。今月は、当クラブから3名の作品が掲載されています。吉田隆男会員が「天」、小山市康会員が「地」を受賞しています。そして我らが雑誌委員長河野明光会員、惜しくも「人」とはなりませんでしたが、しっかりと採用されています。いずれもクスッと笑える楽しい句ですね。

結婚記念日祝

白鳥 厚夫 会員（11月7日）

富居 利貞 会員（11月8日）



表紙の写真 T12



晩秋の多摩川河川敷を散歩する人、
ジョギングの人、サイクリングの人、
等、大勢の人たちがマスク姿で楽しんでいました。

【写真提供 小池 将夫 会員】

出席報告

北村 大輔 出席委員長

会員総数	47名	(27+20)名
出席会員数	38名	(22+16)名
出席率	88.37%	
ゲスト	3名	ビジター
前回補正後	90.48%	前々回補正後
		95.45%

スマイルボックス

古澤 一憲 S A A

富居利貞君 ①結婚祝い、11/8 58回 ありがとうございます。
②途中退席します。

白鳥厚夫君 ①結婚祝い、ありがとうございます。24年目になります。②直前会長・直前幹事慰労会出席の皆様、お疲れ様でした。

小山市康君 11/3 岸根公園花壇花植えにご参加の皆様、お疲れ様でした。②李徳雨米山学友会幹事、本日の卓話、よろしくお願ひします。③北村敦様、深野友和様、ごゆっくりお楽しみ下さい。

山本 登君 秋ですね。

伊東英紀君 李徳雨さん、本日の卓話、楽しみにしています。

山本芳弘君 先週の慰労会では、白鳥さん、田中さんをはじめ、皆様ありがとうございました。1年間のご協力に改めて感謝申し上げます。

山田正憲君 李君、3年間米山学友会会長お疲れ様でした。本日の卓話、楽しみにしています。

植田清司君 先日の岸根公園花壇の花植えに参加された皆様、お疲れ様でした。この日、予定が入っていて参加出来なくてすみませんでした。

友添辰哉君 ①岸根公園花壇花植え参加の皆様、お疲れ様でした。②ドクちゃん、卓話よろしく！

田口健太郎君 先週は、慰労会を開催して頂き、誠にありがとうございます。ダンスで腰の調子も良くなりました。

茂木知子さん タクシーに乗りました。ドライバーが間わず語りに、昔、自分の上司が女性だったこと、その女性が強くたくましかったことを語りました。その女性はシングルマザー（当時では珍しかったのではないでしょうか）で、自分の家と娘の家を建て、友人にスナックをやらせていたそうです。最後に、「お客様も強そうだね」と言いました。

赤堀伽寿一君 本日、以前メンバーであった北村有加さんのご主人が例会見学です。皆様、よろしくお願ひ致します。

加野亮一君 ①李君、卓話ありがとうございます。②北村さん、深野さん、いらっしゃいませ。ごゆるりとお楽しみ下さい。

馬場佳子さん ①李様、卓話よろしくお願い致します。②深野様、北村様、ようこそ！

角野弘幸君 李徳雨さん、卓話よろしくお願ひします。

池田広樹君 河野さん、先日はすっかりご馳走になり、ありがとうございました。

北村大輔君 ①北村敦様、深野友和様、本日はごゆっくり見学して下さい。②李徳雨さん、卓話楽しみにしております。

岸根公園花壇花植え参加の皆様 岸根公園花植えご参加の皆様、ありがとうございました。会費の残りをニコニコへ入れさせて頂きます。

古澤一憲君 ～年貢の納め時～内科に行き、コレステロールの薬を頂きました。十数年に及ぶ食事療法に終止符を打つことが出来ました。

11月5日	19件	40,000円
本年度累計		582,500円
年度目標進捗状況		- 1 %

海外で住むこと

米山学友会 幹事 李 徳雨 様

(紹介者 地区米山奨学生増進委員 角野 弘幸 会員)



この度、米山学友会総会で3年間の米山学友会会長を退任せ頂きました李徳雨です。2012年神奈川東R Cにお世話になってから今年10年目になりますが、会員の皆様のお陰様で米山学友会活動ができ、米山奨学生と卒業生とロータリアンとの架け橋役として楽しい経験をさせて頂きました。今まで米山学友会にご支援くださった皆様に、この場を借りて感謝のお礼を申し上げます。これからもロータリアンの皆様から教えて頂いたロータリー精神を活かして、より活発な米山学友会活動を致しますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

IOM (国際移住機関、International Organization for Migration)によると、世界の総人口76億人のうち、自分の母国ではない所で住んでいる人は、約10億人を超えており、世界的に7~8人の中で1人が母国から離れているといえる。移民、労働、亡命、結婚、留学など様々な目的で、母国から離れ、新しい居住地で絶えず適応しながら生きている。母国から離れて居住することは「移住」あるいは「移民」という。この「移住・移民」するということを文化的な面で考えてみると、基本的な生活環境の変化により、様々な現象が現れると理解できる。

この基本的な生活環境の変化は、母国の生活様式が変わったり、新たに作られたりすることで、その生活環境に人々がどのように受け入れながら適応することである。また、その過程の中で

現れる現象は、生活空間を海外に移る人々の行為・認識が文化としてみえてくるといえる。

海外に「移住・移民」する人々が最初に苦労することは、言語・衣食住であるとよく言われる。この中で言葉は短期間で解決できないため、時間をかけて徐々に慣れていくことであるといえる。しかし、衣食住の問題は、現在的な問題であり、海外での生活をし始めるときから出会う問題ある。衣食住の中で衣と住は現地の状況に最も適応することであれば、食の場合は適応しながら、母国の味を求めようとする問題である。その問題を解決するため、世界各地では各国の料理屋や食材販売店がある。この店は同国の人々のコミュニティの場になり、様々な情報を交換する役割をしている。

◎ブラジル移民者

◆日本人移民： 1908年に移民船「笠戸丸」、100年以上の歴史、約150万人

◆韓国人移民：1963年からはじめ、今年が移民50周年、5万人程度

⇒日韓両国はアジアの隣国として農業移民政策の目的で移民がはじめられ、日本は6世、韓国は3世まで彼らの文化を守りながら、またブラジルの新文化を受け入れながら、新たな移民文化を創って生活を続けている。

◆文化は移民者が持っていくソフトウェア(software)として、移民者(hardware)がどのように行動して適応していくことを分かる枠組みになる。これらの枠組みは、新たな地域の文化と衝突するようになり、この衝突過程と適応過程を経て移民文化と呼ばれる第3の文化が現れる。

二宮金次郎



アメリカンズアンゼルス



ブラジルヘヒストロ

ブラジルサンパウロ日本街(東洋街)の風景



◎日本移住者

1910年代から当時朝鮮から日本に渡ってきた人々は、1910年日韓併合条約後、急に増加し、1945年敗戦の直接前までピークを記録した。約200万人であると推測されるが、敗戦後その人数は60万人まで減った。当時日本に残した人々は、それぞれの事情があったと思われる。政治・経済・生活・家族などの様々な理由で日本に住み続こうとしたのではないだろうか。

日本で韓国・朝鮮国籍の外国人登録数は1945年を起点として急激な変化がみられる。その後、1950年に朝鮮戦争(韓国語では韓国戦争)を起こして、韓国(或いは朝鮮)は2つの国に分けられる状態になった。これによって人数の変化はあまりみえないが、日本にいる朝鮮出身の人々には韓国・朝鮮という国籍を選ばなければならない結果を生み出した。

それから1964年東京オリンピックで日本の経済は急成長になり、1980年代世界的なグローバル化によって日本では外国人が数多く流入された。この時に韓国からもいわば出稼ぎのため日本に移住する人々が増えた。この時期を起点で、研究者によつて1980年前に移住した韓国・朝鮮人をオールドカマー、1980年後に移住した韓国人をニューカマーと分けて呼んでいる。そして2000年から韓流ブームで日本に移住した韓国人もかなりいる。

日本内での在日韓国人の変化を時代別に整理してみると、
1) 1945年日本の敗戦、2) 1980年代前後、全世界的にグローバル化による外国人の大量流入、3) 2000年代韓流ブームで流入であるといえる。

3重の境界	文化アイデンティティ論	食文化
民族の境界	守りと闘争の文化アイデンティティ	母国の食を食べる努力
祖国帰属性の境界	葛藤と分裂の文化アイデンティティ	食の好みの差からできた葛藤
現実の境界	分化する文化アイデンティティ	自国の食文化と他国の食文化の融合から作り出された新たな食文化

岸根公園花壇花植え実施（秋）

10月3日、本年5月に次いで2回目の“岸根公園花壇”の花植えを実施致しました。

当日は“文化の日”的祭日とあって、広い公園内は家族連れやグループ、運動やスポーツの愛好家、散歩を楽しむ人たちで賑わっていました。

今回の花壇には、“パンジー”、“ビオラ”、“ノースポール”、“シルバーレース”的4種の花を植えました。

11名の会員が参加、日頃持ちつけない“移植ゴテ”を使って、色配置等慣れない作業に汗を流し（？）、無事終了。次いで、コロナ禍で出来なかったコンビニ弁当の会食を公園内で楽しみました。



社会奉仕・職業奉仕クラブフォーラム開催

11月5日（金）例会終了後、第1回クラブフォーラム（社会奉仕・職業奉仕）が開催されました。



次回〈11月19日〉の予定

「ヨーヨーチャンピオンと社会保険労務士としての活動紹介」
スピカ社会保険労務士事務所 代表 飯塚 知世 様
(紹介者 茂木 知子 会員)